



—— 表紙の言葉 ——

「みんなの想い」

Honda では、「自分のアイデアで仕事をしていけば仕事もエンジョイできる」
 もちろん、F1 も日々新しいアイデアを出し、チャレンジしていけるハードでエンジョイできる場です。
 その Honda-F1 への私達の想い、いろんな国のデザイナーが熱い想いのスケッチを描きました。
 そのイメージは過去から未来へずっとずっと心ときめく美しきもの、アイデア満ちた豊かなものです。

4BL 植野茂生



表紙デザインを描いた、デザイナーたちです。

編集責任者	櫻原 一雄
編集委員長	田中 尋真
編集委員	高橋 秀幸
編集委員	三浦 啓二
論文選考委員／査読委員	石井健一郎
	石塚 和久
	伊藤 達哉
	岩井 淳
	鷓篋 由之
	大藪 耕平
	角田 哲史
	川辺 俊
	喜多真佐人
	小池 明彦
	児玉 達也
	澁江 秀明
	田辺 豊治
	土屋 雅之
	戸塚 雅弘
	外村 明男
	中能 信尚
	西田 俊之
	長谷川祐介
	久恒 史郎
	廣政 直紀
	松本 雅彦
	真野 敦
	溝上 清信
	渡辺 創

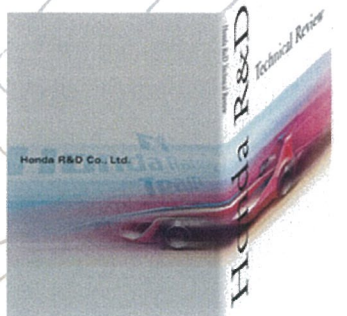
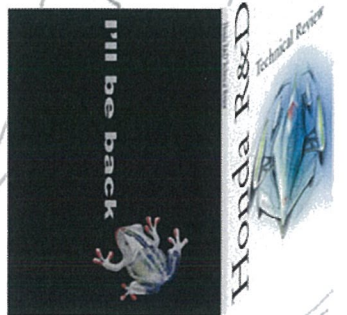
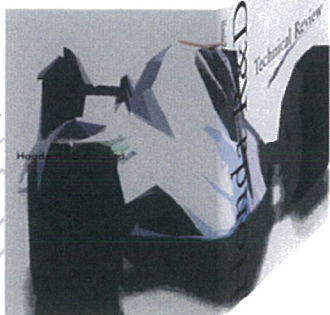
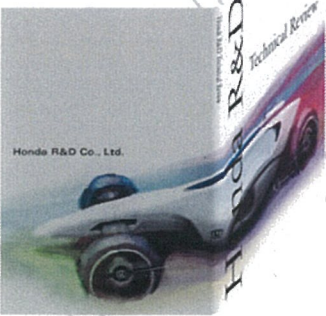
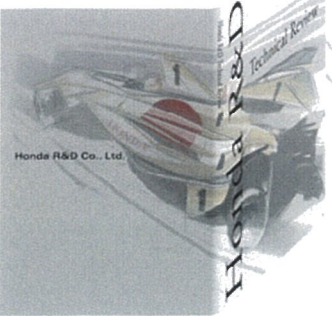
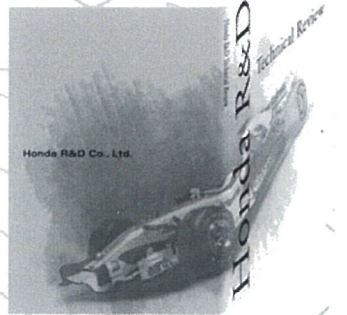
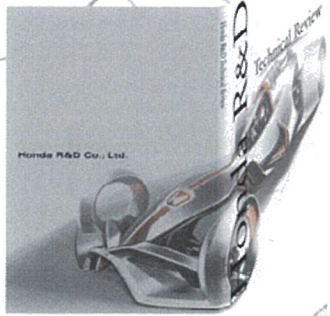
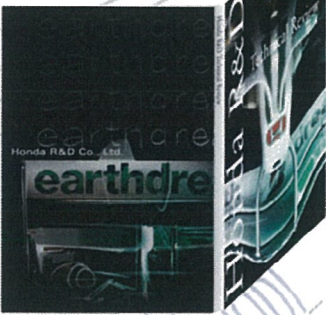
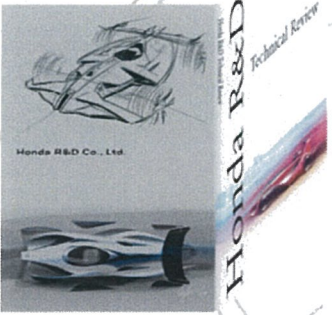
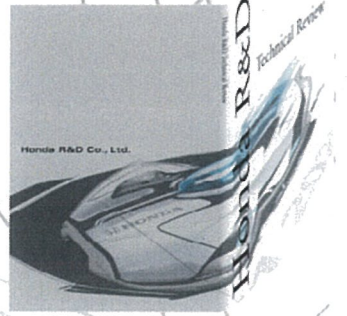
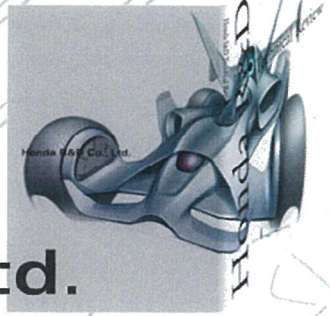
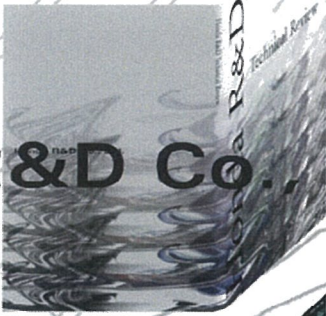
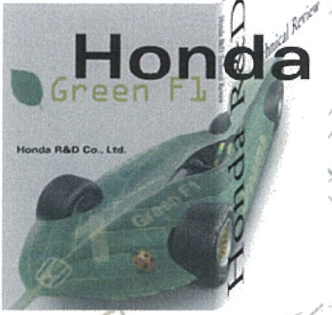
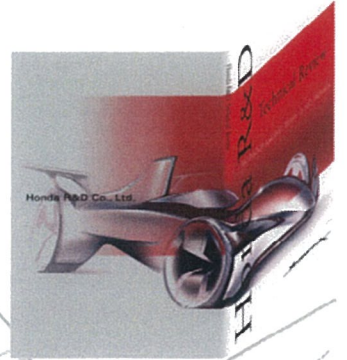
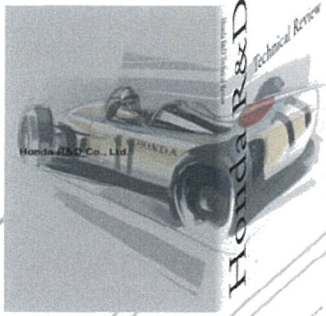
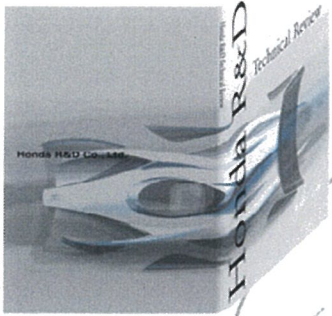
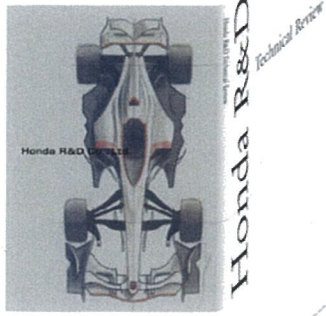
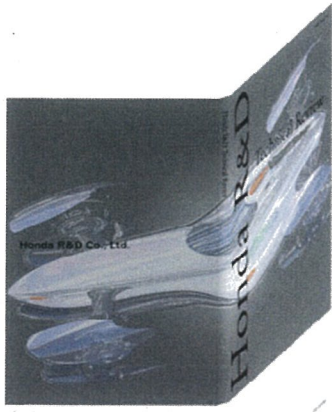
編集協力 全所論文委員会
 四輪開発センター論文委員会
 査読委員長 漆山 雄太
 事務局 郷土 健二
 小島 法子
 秋元 剛

突然のF1撤退発表を受けてこの特集号を企画してから、早くも1年が経とうとしている。サラリーマンでありながらレース開発に関与できるのは技術者としてたいへん幸運だと、ある先輩に言われたことがあるが、レース開発に関与しながらその成果を編集という立場でまとめられたことは、さらに貴重な経験であった。

Honda F1の第1期や第2期の時代に比べて、レース技術と量産技術の乖離が指摘される今日のごろであるが、このような形で記録を残すことで、極限を極めて得られた技術は、すぐにはその使い道や効果が見えなくとも何らかの形で必ず世の中に役立つ価値あるものであると、いつか立証できれば幸いである。

最後に、F1プロジェクトの途中で残念ながら逝去された我々の仲間である、車体およびギヤボックスのハードとソフトを担当された熊谷智治さん、エンジンの実走とギヤボックスの研究を担当された高橋理さん、エンジン研究を担当された中島健次さん、制御開発を担当された若狭昌典さんにこの特集号を捧げたいと思います。

(田 中)



Honda R&D Co., Ltd.